



主に妊娠から出産、育児に至るまで、母子の健康を支える助産師。出産をサポートして赤ちゃんを取り上げるだけでなく、妊娠期や出産後の健康指導、乳房ケア、新生児の支援なども担つ。いわば児童虐待をいち早く察知する地域の見守り隊でもあります。そんな県内の助産師達が数多く在籍する「一般社団法人茨城県助産師会」会長の島山みき子さんにお話を聞きました。

「出産前後の母親を中心的に全ての女性の心身に寄り添う」

会の発足から90年以上の歴史を誇り、県内約250名の助産師によって組織される茨城県助産師会。出産前後の母親をはじめ、女性の心身の健康課題に取り組むため、さまざまな事業を開催しています。まず育児中の母親を中心に、思春期から更年期まで女性のライフサイクル全般の支援を行う「子育て・女性健康支援センター事業」では、電話相談の「いばらき妊娠・子育てほっとライン」や小中高校への出張講座

「いのちの教育」などを実施。そして災害発生時に母子やその家族を守る防災ハンドブックや防災支援マニュアルの作成のほか、産後ケアや新型コロナに關わる相談支援といつて行政からの委託事業も行います。また、5月5日「国際助産師の日」や11月3日の「いいお産の日」には主催イベントの開催など、ジャンルレスに幅広い活動を行っています。

中でも児童虐待防止の一助となっているのは、茨城県が全国で先駆けて実施している出張産後サポートです。これは、「授乳が上手くいかない」「発育が他の子より遅い」など様々な育児不安を抱える新米ママの自宅に県助産師なんども出張相談リストが訪れ、じっくり話に耳を傾けてフォローする取り組み。「相談された方の良い所」で見つける所を見つけて、「それでいいんだ



妊娠から出産、育児まで母子の健康を支援するスペシャリスト。出産のサポートをはじめ、産前・産後の母子へのケア、思春期や更年期等の女性に対する健康支援も行う。英語では「女性とともに」を意味する「mid wife」と呼ばれる

いばらき 妊娠・子育て ほっとライン

妊娠・出産・育児などの不安を助産師が電話でサポート。
思春期や更年期に関する相談にも応じています。

相談内容例

- 妊娠や出産のこと
- 育児や母乳のこと
- 子育てに関する不安
- 思春期の心とからだの変化について
- 更年期のからだの変化や過ごし方について

など

Tel.029-301-1124
【受付時間】月・火・水・金 10:00~17:00
※年末年始(12/29~1/3を除く)

一般社団法人
茨城県助産師会

Always with woman

ホームページは
コチラ!




いちはや 189 番へ

いちはやく おなまみを

「虐待!?」と思ったら
児童相談所 虐待対応ダイヤル ☎ 0120-189-783

自分は虐待(ぎやくたい)を受けているかも…を感じている子どもの皆さん
189は子ども自身も相談・通告できる窓口です。周りに相談できる人がいないとき、どうしてよいかわからないときは、189へ相談してください。

主催 株式会社日宣メディアックス(いばナビ/ひたちゅ Coute / にしも/こがも/かしす)
茨城県・茨城県警察・日立市・常陸太田市・高萩市・東海村
認定NPO法人 いばらき子どもの虐待防止ネットワークあい・認定NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク
認定NPO法人 茨城NPOセンター・コムズ・NPO法人 フードバンク茨城/NPO法人 Babyほげっと/一般社団法人 茨城県助産師会

後援     
株式会社 水戸・日立・いわきメールサービス  大王製紙グループ DAIO MIURA 

協賛 

株式会社 水戸・日立・いわきメールサービス  は、児童虐待防止に取り組みます



左から会長の島山(いそやま)あけみさん、
子育て・女性健康支援センター長の島山みき子さん

すよ」と前向きになれる支援を心がけています」と子育て・女性健康支援センター長の島山みき子さんは語ります。同じく県の委託事業である電話相談「いばらき妊娠・子育てほっとライン」と子育て・女性健康支援センター長の島山みき子さんは語ります。同じく県の委託事業である電話相談「いばらき妊娠・子育てほっと

ライン」でも、その姿勢は変わりません。児童虐待死の大半は0歳児。それは望まぬ妊娠や出産が主な原因とされています。小中高校での「いのちの教育」は、正しい妊娠、出産の知識を伝えるとともに、子どもやその親達に「生まれてきてくれてありがとう」と命の大切さを再認識することを大切にしています。



妊娠から出産、育児まで母子の健康を支援するスペシャリスト。出産のサポートをはじめ、産前・産後の母子へのケア、思春期や更年期等の女性に対する健康支援も行う。英語では「女性とともに」を意味する「mid wife」と呼ばれる